

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	3 夢のふくらむ港			24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	港営部 関連事業担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成			事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7836 連携課	
個別施策名	13 人びとの交流の場を充実する			継続	拡大	維持		
事務事業名	04 名古屋港ポートビルの管理運営			継続	拡大	維持	事業期間	平成18年度～継続
目的	名古屋港ポートビル施設(ポートビル、南極観測船ふじ、ポートハウス、駐車場)を効率的・効果的に管理運営し、多くの人々が訪れる施設にします。						事業期間	平成18年度～継続
概要	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。						根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港ポートビル条例
							実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の 実施予定	24年度に引き続き、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。また、名古屋港ポートビル開館30周年記念事業に向けて準備します。						関連シート	


2 DO(実施)

平成25年度に 実施した 内容・結果	ソフト面では、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供しました。ハード面では、平成26年7月にポートビル30周年の節目を迎えることから、年度内に、展望室の内装を高質化するとともに、車椅子の来館者の利便性向上のため、電動リフト式椅子を導入しました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	116,216	0	0	54,600	138,867	309,683	(款項目節) (H25)建設費/整備費/施設補修費/工事請負費 (展望室補修など122,972千円)
一般会計	千円	116,216	0	0	54,600	138,867	309,683	(H25)建設費/整備費/改修費/工事請負費(便所改修など15,895千円)
事業会計	千円							(算出計算式)
その他	千円							(その他) 平成22年度からの利用料金のみで管理運営することとなったため、指定管理料は0円となりました。 工事請負費は平成24年度より計上して記入してあります。
人員費計	千円	5,149	4,071	4,138	4,184	4,205	21,746	
正規職員	人	0.60	0.48	0.48	0.48	0.48		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	121,365	4,071	4,138	58,784	143,072	331,429	

3 CHECK(検証)

活動・成果指標(単位)	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
定例会議・モニタリング回数(回)	目標	39	39	29	29	29		29	平成23年度より、定例会議を月2回から月1回に変更しました。
	実績	40	39	29	29	29			
	達成率(単年度%)	102.6	100.0	100.0	100.0	100.0			
入館者数[ポートビル 展望室、海洋博物館及 び南極観測船ふじ共 通](万人)	目標	60	60	60	60	60		60	
	実績	52	46	46	42	39			
	達成率(単年度%)	86.7	76.7	76.7	70.0	65.0			
達成率(累計%)	-	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □ 現政策体系の5年間に於いて、ポートビルは、個別施策の「人々の交流の場を充実する」に対して、子供から大人まで、多くの人々が訪れる施設であります。							
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □ 今後も、本組合として、利用者の高いニーズがあることから事業を実施していく必要があり、次期政策体系においても、引き続き取り組んでいきたいと考えています。							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □ 現政策体系の5年間に於いて、入館者39万人と目標を達成することができませんでしたが、海事思想普及事業として年間を通して定期的なイベントを実施するなど名古屋港をPRしました。							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □ 現政策体系の5年間に於いて、平成22年度から平成25年度は二期目の指定管理者となりました。この制度を導入していることから、最小のコストで最大の効果をあげたと考えております。							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			目標値には達成していませんが、コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入場者数を実現するため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				

目標の入場者数が達成できるように、毎月のモニタリングで指導・助言を行う。また、施設の良好な維持管理及び高質な利用者サービスを提供できるように指定管理者と協議していきます。